



千代田区立千代田幼稚園

所在地 東京都千代田区神田司町2-16
 電話 03-3256-1709
 FAX 03-3256-6070
 最寄りの駅 JR 神田
 地下鉄 神田、小川町、淡路町

園長 木村 恭子
 PTA会長 鈴木 佑 脩

I 教育の概要

1 幼稚園・地域の特徴

- 複合施設「神田さくら館」内にあり、千代田小学校に併設し、施設を一緒に活用している。
- 日本の伝統・文化に触れる体験や外国人講師による国際教育を行っている。
- 自然と触れ合う楽しさや、収穫した野菜を食べる喜びを味わいながら、環境教育・食育を行っている。
- 人とかかわる力を育むために、異年齢交流や園内外の様々な人とかかわる体験を重視している。

2 教育目標

(1) 園の教育目標

人権尊重の精神を基盤に、主体的に遊びを楽しむ中で、新しい時代を生き抜く力の基礎を培い、心豊かでたくましい幼児の育成を目指し、次の目標を設定する。

- あかるく げんきに (心と体を弾ませ、伸び伸びと遊ぶ子ども)
- ◎みんな なかよく (人と心を通わせ、自他を大切にできる子ども)
- よく かんがえて (夢中になって遊び、考え、創り出す子ども)

(2) 園の教育目標を達成するための基本方針

ア 「あかるく げんきに」(心と体を弾ませ、伸び伸びと遊ぶ子ども)の具現化に向けた方針

- ・基本的な生活習慣の確立と、体を動かす心地よさや楽しさを十分に味わえる経験を通して、健康で安全な生活を意識し、主体的に行動しようとする姿が育つようにする。
- ・戸外遊びや多様な運動遊びを通して、体を動かす楽しさを十分に味わい、遊びや生活へ意欲的に向かおうとする態度が育つようにする。

イ 「みんな なかよく」(人と心を通わせ、自他を大切にできる子ども)の具現化に向けた方針

- ・友だちや身近な大人との関わりの中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする経験を大切にし、共に過ごす心地よさを感じられるようにする。
- ・集団生活の中で遊びや生活の経験を通して、思いの違いに気づく場面も大切な経験として捉え、相手を認め合いながら関係を深めていく過程を尊重していく。

ウ 「よく かんがえて」(夢中になって遊び、考え、創り出す子ども)の具現化に向けた方針

- ・身近な遊びや生活の中で生まれる「なぜだろう」「やってみよう」という気づきや問いを大切に、考えたり試したりする過程を重ねられるようにする。
- ・環境や援助の工夫を通して見通しをもって行動したり、工夫したりする経験を重ね、考えることの面白さを味わえるようにしていく。

エ その他、学校の教育目標の具現化に向けた方針

- ・一人一人の育ちを大切に、家庭や地域、関係機関と連携しながら教育活動を推進するとともに、園評価を教育課程の改善に生かし、組織的・継続的に教育の質の向上を図る。

3 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- 体を動かす楽しさを味わい、基礎的な体力の向上を図るため、戸外遊びやコーディネーションレーニング、外部講師の活動等を生かし、多様な運動遊びが展開されるようにする。(健康)
- 健康で安全な生活を営む力を養うため、食育指導「いただきますの日」や生命の安全教育を通して、自分の体を大切に、気持ちよく生活するために必要な習慣や約束が身に付くようにする。(健康)

- ◎教師や友達との関わりの中で、思いを伝え合う経験を重ねられるようにするため、自分の思いを表現したり、相手の思いに気づいたりしながら、遊びや生活を通じた関わりを大切にする。（人間関係・言葉）
- ◎集団生活の中で道徳性・規範意識の芽生えを培うため、様々な出来事や自分の行動を他者の立場からも考えられるように促し、自分の気持ちを調整し、自律的に行動できるようにする。（人間関係）
- ◎一人一人の特性に応じた指導と環境づくりを進めるため、多様性を尊重する視点を園全体で共有し、互いの違いや個性を認め合えるインクルーシブな集団づくりを推進する。（人間関係）
- ◎一人一人の育ちを支えるために、園内での共通理解に加えて、関係課や関係機関と適切に情報を共有しながら、切れ目のない支援につなげていく。（環境）
- ◎他者への理解と共生の意識を育むため、障害のある方との触れ合いや交流の機会を通して、相手を思いやり、共に生きる姿勢を育てていく。（人間関係）
- ◎他文化への理解を深め、多様な他者に気づき関わろうとする気持ちを育むため、外国人講師との活動や日々の遊び・園生活での関わりを大切にする。砂場遊びや給食、鬼ごっこなどの遊びの場面で自然に触れ合えるようにし、まずは“園にいる身近な大人の一人”として安心して関わられる関係を築く。こうした日常的な関わりを通して、子どもたちが自分から関わろうとしたり、異なる文化への興味や関心をもったりする姿を育てていく。（人間関係・言葉）
- ◎子どもの権利を大切にする意識を育むため、教職員の研修を進め、一人一人の子どもの人権を尊重した教育活動を行い、自他を大切にできる子どもを育てていく。（人間関係）
- ◎幼児が主体的に遊びや活動に取り組み、やり遂げようとする力を育てるため、興味や関心、探求心を高める環境を整え、試行錯誤した過程を振り返り、次への意欲につなげていく。（環境）
- ◎「東京すくわくプログラム」に位置付けた探究活動を通して、園の環境や強みを生かしたテーマ「表現（造形）」に取り組み、友達と協働しながら創り出す面白さや発見を味わえるようにする。（表現）
- ◎豊かな感性や表現する力を育むため、心が動かされる出来事を表現につなげたり、表現方法を工夫して活用したりしながら、一人一人が自分なりに表現することを楽しめるようにし、幼児期における主体的・対話的で深い学びを実現する。（表現）
- ◎絵本や物語に親しみ、言葉の面白さや豊かなイメージを広げるため、図書館司書と連携し、読み聞かせや、貸し出しを通して想像力や言語感覚を育てる。（言葉）
- ◎特色ある教育活動として、茶道や華道などの日本の伝統文化に継続的に親しむ機会を設け、3年間の学びの積み重ねを生かした指導を行う。東京2020レガシーで掲げる「日本人としての自覚と誇り」を育む取組として、神田地区の文化や伝統行事に触れながら、日本の文化の豊かさを実感し、主体的にかかわろうとする姿を育てていく。（表現）
- ◎質の高い保育を実現するため、日々の保育を多面的に振り返り、教員間の話し合いや園内研究を通して、保育者の資質・専門性の向上を図る。（環境）
- ◎小学校との円滑な接続を図るため、小学校教員との相互理解を深め、就学前教育を推進するとともに、地域の人材や文化に触れる機会を大切にする。（人間関係・言葉）

(2) 環境の構成

- ◎心と体をのびやかに動かす遊びを十分に行えるようにするため、年間の指導に見通しをもち、園庭や屋上等の空間を生かしながら、運動遊具や用具を計画的に整え、多様な運動遊びが展開できる環境を構成する。
- ◎自然に親しみながら健康な体づくりにつなげるため、屋上ファームを活用し、栽培や収穫を通じて四季を感じる体験や、土に触れる活動を取り入れ、自然と関わることのできる環境を整える。
- ◎友達との関わりを深め、互いの違いを認め合えるようにするため、ホールを囲む保育室配置の特性を生かし、異年齢の子ども同士が自然に関わり合える環境を構成する。
- ◎一人一人が安心して自分の思いや気持ちを表現し、相手の存在に気づけるようにするため、生活や遊びの場面に応じた空間の使い方や教材配置を工夫し、対話ややり取りが生まれやすい環境を整える。
- ◎多様な人との出会いを通して他者理解や共生の意識が育つようにするため、障害のある方との交流や、様々な背景をもつ人々と触れ合う機会を計画的に位置付け、互いを尊重する気持ちが育つ環境を構成する。
- ◎幼児が自分の興味や関心に基づいて主体的に遊びや活動に取り組めるようにするため、試したり工夫したりできる素材や教材を用意し、気づきや問いが生まれる環境を整えていく。

- 考えたことや感じたことを表現し、創り出す楽しさを味わえるようにするため、「東京すくわくプログラム」に位置付けた探究活動（表現・造形）を支える場や材料を工夫し、友達と協働して取り組める環境を構成する。
- 言葉やイメージを豊かに広げられるようにするため、絵本や物語に親しめる空間を整備するとともに、図書館司書との連携を通して読み聞かせや貸し出しを行い、想像力が育つ環境を充実させる。
- 保育者一人一人が子どもの姿を自分事として捉え、よりよい環境について考えられるようにするため、園内研究のテーマ「楽しい幼稚園になるために」を基盤に、互いの保育のよさに目を向けた話し合いや振り返りを行い、その気付きを物や場の配置、動線の工夫などの環境改善につなげながら、人的環境を含めた教育環境の質の向上を図っていく。
- 社会や世界とのつながりに気付けるようにするため、男女平等や地球環境への配慮、多様な文化や価値観を意識した教材や絵本を取り入れ、園の環境づくりに生かしていく。

(3) その他

- ◎家庭や地域社会と連携し、子どもを取り巻く環境への理解を深めながら育ちを支えていくため、保護者との日常的な情報共有を大切にするとともに、保育参観や個人面談等を通して相互理解を図り、共に育てる意識を高めていく。
- ◎地域とのつながりを生かし、社会の一員としての意識の芽生えを育むため、未就園児親子を対象とした「すこやかクラブ」を計画的に実施し、子育て支援や情報提供を行うとともに、関係機関との連携を深めていく。
- 安全で安心な園生活を送ることができるようにするため、自分の身を守るための知識や基本的な避難方法を分かりやすく伝えるとともに、様々な事態を想定した訓練や職員研修を実施し、危機管理体制の充実を図る。
- 保育者同士が信頼関係を大切にしながら、互いの保育や子どもの姿のよいところに目を向け、一人一人が自分なりに教育環境を振り返れるよう、令和8年度の研究主題「楽しい幼稚園になるために」を園内研究の柱に位置付け、日常の話し合いや振り返りを重ねていく。その中で、物や場の配置、動線、仕事の進め方などの見直しに少しずつ生かしながら、人的環境を含めた教育環境の質の向上につなげていく。
- 子ども一人一人の生活リズムを大切に、心身の安定を図るため、短時間保育・長時間保育・預かり保育を一体的な教育計画のもとで実施し、安心して過ごせる環境づくりと多様な経験の提供を行っていく。
- 教職員が心身ともに健康で働き続けられる環境を整えるため、業務の効率化や働き方の見直しを進める。ちよだスマートスクールの取組を生かし、議事録作成における音声データ活用やアンケート・資料共有のICT化を図り、教職員の業務負担を軽減する。これらの取組を通して、定時退勤日やノーコンタクトタイムの確保につなげ、働き方改革を着実に推進していく。

4 一日の時間

年 齢	期 間	登園時刻	教 育 活 動	降園時間	備 考
3 歳 児	4月10日～ 4月17日	8：50～9：00	9：00～11：00	11：00	水曜日 13:00降園
	4月20日～ 5月 7日	8：50～9：00	9：00～11：30	11：30	
	5月 8日～ 7月17日	8：50～9：00	9：00～13：00	13：00	
	9月 3日～ 3月19日	8：50～9：00	9：00～13：50	13：50	
4 歳 児	4月 7日	8：50～9：00	8：50～11：35	11：35	水曜日
	4月 8日～ 3月19日	8：50～9：00	8：50～13：55	13：55	13:05降園
5 歳 児	4月 7日～ 4月10日	8：50～9：00	8：50～11：40	11：40	水曜日
	4月 8日～ 3月18日	8：50～9：00	8：50～14：00	14：00	13:10降園

5 年間行事計画

4月	長時間保育、春季預かり保育、始業式(4・5)、入園式(3)、給食始、保護者会、学級懇談会、定期健康診断始、耳鼻科検診、眼科検診、離任式、子どもの日の集い	10月	親子運動日、お月見の集い、遠足(3)、芋ほり遠足(4、5)、実りのお茶会、保育参観、遠足(全)
5月	親子遠足(全園児)、花と触れ合う(5)、内科検診、歯科検診、神田警察安全指導、水遊び指導始、遠足(4・5)、定期健康診断終保育参観ウィーク	11月	保育参観、区一斉清掃、お話の会、合同子ども会(5)、保護者会(書面開催)
6月	個人面談、コーディネーショントレーニング、よい歯の表彰式区一斉清掃、あじさいのお茶会、遠足(4・5)	12月	子ども会、バイオリンの会、就園児健康診断、個人面談、お楽しみ会、給食終、終業式、冬季休業日始、長時間保育、冬季預かり保育
7月	長寿会との交流、七夕の集い、盆踊りを楽しもう、親子でシネマコンサート、フラダンスに親しむ、給食終、終業式夏季休業日始め、長時間保育、夏季預かり保育	1月	長時間保育、冬季預かり保育、冬季休業日終、始業式、獅子舞鑑賞、給食始、園公開・保育参観、子育て親育ち講演会、連合作品展、パラリンピアンとなかよし、初釜
8月	夏季休業日、長時間保育、夏季預かり保育	2月	節分の集い、新入園児保護者会、桃のお茶会、なかよし会、開園記念の集い
9月	始業式、給食始、水遊び指導終、敬老の日の手紙投函	3月	お別れ遠足(5)、ひな祭りの集い、保護者会・学級懇談会お別れ会、給食終、修了式、終業式、春季休業日、長時間保育、春季預かり保育
毎月の行事	誕生会(毎月)、体重測定(毎月)、身長測定(4・9・1・3月)、避難訓練(毎月)、安全指導・点検(毎月)、国際教育(週1回)、図書館司書(毎月)、ウッチー先生と遊ぼう(年7回)、まっちゃん先生と遊ぼう(年4回)、自然大好き(年4回)		

II 現況

1 園舎施設・規模一覧

現園舎	着工 平7.12.6 竣工 平10.2.16	保育室	保育室(3) 204㎡
園舎構造	鉄筋コンクリート造7階建 1階・2階の一部		遊戯室(1) 103㎡
園舎面積	1,199㎡	職員室	職員室 39㎡
あそび場	屋外(小学校共用)	その他の室	会議室 47㎡

2 組編成(5月1日現在)

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	ばら	7	8	15	4歳	さくら	11	5	16	5歳	すみれ	14	7	21

総合計 52名(男36名、女19名)

3 所在地



Ⅲ 沿革の概要<前身幼稚園の沿革>

神田幼稚園	神竜幼稚園	千桜幼稚園	永田町幼稚園
<p>昭 6(1931). 9. 5 東京市神田尋常小学校内に 神田区立として神田幼稚園 (2学級編成)を開園し入園 式挙行</p> <p>昭16(1941). 12. 6 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭18(1943). 7. 1 都制施行により東京都神田 幼稚園と改称</p> <p>昭19(1944). 4. 20 戦時非常措置により休園</p> <p>昭21(1946). 4. 1 神田幼稚園再開園</p> <p>昭22(1947). 4. 1 千代田区立神田幼稚園と改称</p> <p>昭26(1951). 9. 28 創立20周年記念式典挙行</p> <p>昭28(1953). 10. 29 東京都教育庁研究指定園/研 究発表</p> <p>昭36(1961). 4. 1 3歳児学級 独立</p> <p>昭37(1962). 2. 13 区研究協力園として研究発表</p> <p>昭37(1962). 2. 24 創立30周年記念式典挙行</p>	<p>昭 6(1931). 9. 5 東京市神竜尋常小学校内に 神田区立として神竜幼稚園 (2学級編成)を開園し入園 式挙行</p> <p>昭16(1941). 9. 5 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭18(1943). 7. 1 都制施行により東京都神竜幼 稚園と改称</p> <p>昭19(1944). 5. 31 戦時非常措置により休園</p> <p>昭23(1948). 6. 1 神竜幼稚園再開園 千代田区立神竜幼稚園と改称</p> <p>昭28(1953). 6. 1 開園 5周年記念式典挙行</p> <p>昭36(1961). 9. 15 創立30周年記念式典挙行</p>	<p>明29(1896). 6. 13 千桜尋常小学校分校に付属幼稚園とし て設置</p> <p>明33(1900). 1. 分校が独立し、和泉尋常小学校付属 幼稚園となる</p> <p>明33(1900). 3. 廃園</p> <p>昭 8(1933). 9. 1 東京市千桜尋常小学校に併設</p> <p>昭 8(1933). 10. 12 開園式挙行、2学級90名</p> <p>昭15(1940). 5. 4 紀元2600年奉祝連合運動会</p> <p>昭18(1943). 10. 12 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭19(1944). 5. 2 戦時非常措置により休園</p> <p>昭22(1947). 4. 1 千代田区立千桜幼稚園再開園</p> <p>昭31(1956). 5. 25 交通安全教育研究発表会を小学校と共 に行う</p> <p>昭32(1957). 7. 4 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭36(1961). 4. 1 3歳児保育開始 3学級99名</p> <p>昭36(1961). 10. 3 完全給食開始</p> <p>昭39(1964). 3. 3 創立30周年記念式典挙行 園旗、園歌を制定</p> <p>昭44(1869). 10. 22 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭46(1971). 3. 31</p>	<p>昭13((1938). 4. 1 東京都永田町尋常小学校に併設</p> <p>昭13((1938). 4. 4 入園児73名1組編成で開園</p> <p>昭15(1940). 4. 1 1組増設し2組編成となる</p> <p>昭19(1944). 4. 28 戦時非常措置により休園</p> <p>昭21(1946). 4. 15 再開園</p> <p>昭22(1947). 4. 15 千代田区立永田町幼稚園と改称</p> <p>昭24(1949). 4. 6 1組増設し3組編成とする</p> <p>昭26(1951). 4. 13 幼児増加に伴い、3階図工準備室を保 育室とする</p> <p>昭30(1955). 9. 1 1組増設し、4組編成とする</p> <p>昭33(1958). 11. 20 放送教育全国大会で研究発表</p> <p>昭34(1959). 2. 3 放送教育研究発表</p> <p>昭39(1964). 5. 7 小学校増設により、1階4教室を保 育室に改造し使用</p> <p>昭40(1965). 6. 1 東側空地を整備し、菜園とする</p> <p>昭41(1966). 12. 10 「よい歯の幼稚園」として全国・都・ 区より表彰される</p> <p>昭43(1967). 11. 13</p>
神田幼稚園			

<p>昭41(1966). 4. 1 神田・神竜幼稚園が合併し、新たに千代田区立神田幼稚園となる</p> <p>昭41(1966). 4. 8 合併式挙行</p> <p>昭44(1969). 4. 1 東京都教育庁の指定により、幼小連携による体力づくりの研究指定園となる</p> <p>昭45(1970). 11. 12 都・区協力園として、幼小関連による体力づくりの研究発表</p> <p>昭47(1972). 2. 23 創立40周年記念式典を挙行</p> <p>昭51(1976). 2. 3 神田幼稚園園歌を制定</p> <p>昭52(1977). 11. 17 「幼児の意欲的な活動を促すための指導—自然を中核として—」 公開保育</p> <p>昭53(1978). 1. 10 園旗を作成し、区より贈呈される</p> <p>昭53(1978). 10. 27 日本初等理科教育研究会の研究園として「物事に意欲的に取り組み、工夫する幼児の育成」の研究発表</p> <p>昭56(1981). 10. 27 創立50周年記念式典挙行</p> <p>昭59(1984). 1. 27 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>平 3(1991). 6. 4 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>平 3(1991). 11. 16 創立60周年記念式典挙行</p> <p>平 5(1993). 3. 28 「さようなら神田幼稚園・神田小学校」の式典並びに集会挙行</p>	<p>完全給食廃止</p> <p>昭48(1973). 10. 23 創立40周年記念式典挙行</p> <p>昭49(1974). 2. 15 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭55(1980). 10. 28 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭58(1983). 10. 21 創立50周年記念式典挙行</p> <p>昭59(1984). 6. 21 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭63(1988). 11. 2 千代田区幼稚園公開保育</p>	<p>創立30周年記念式典挙行園旗・園歌制定</p> <p>昭48(1973). 6. 9 創立35周年記念式典挙行</p> <p>昭49(1974). 1. 31 交通安全教育研究発表会</p> <p>昭49(1974). 11. 21 交通安全教育研究発表会</p> <p>昭52(1977). 1. 27 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭53(1978). 11. 20 創立40周年記念式典挙行</p> <p>昭54(1979). 4. 1 3歳児保育を開始する</p> <p>昭57(1982). 6. 29 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>昭61(1986). 12. 8 健全育成事例研究発表会</p> <p>平成(1989). 3. 4 創立50周年記念式典挙行</p> <p>平成(1989). 6. 9 千代田区幼稚園公開保育</p> <p>平 3(1991). 6. 28 千代田区幼稚園公開保育</p>
--	--	--

<千代田区立千代田幼稚園の沿革>

<p>平 5(1993). 4. 1 学校設置条例の改正に伴い、神田幼稚園・千桜幼稚園・永田町幼稚園（一部）が合併し、東京都千代田区立千代田幼稚園となる</p> <p>平 5(1993). 5. 14 東京都教育庁の指定により、平成5年・6年度の男女平等教育推進園となる</p> <p>平 6(1994). 2. 26 園歌・園章制定式挙行</p> <p>平 6(1994). 6. 30 東京都教育庁男女平等教育推進園として研究発表</p> <p>平10(1998). 3. 2 新園舎落成式</p> <p>平10(1998). 4. 7 新園舎保育開始</p> <p>平10(1998)～11(1999) 文部省預かり保育推進事業地域指定実践園（預かり保育試行）</p> <p>平10(1998). 12. 11 千代田区幼稚園保育研究会</p> <p>平12(2000). 4. 1 預かり保育本格実施</p> <p>平14(2002). 11. 27 千代田区幼稚園保育研究会</p> <p>平16(2004). 2. 7 創立10周年祝う会・記念祝賀会挙行</p> <p>平17(2005). 10. 28 平成16・17年度千代田区研究協力園研究発表会</p> <p>平21(2009). 2. 25 創立15周年記念集会を小学校と合同で実施</p> <p>平24(2012). 11 千代田幼稚園一階部分保育園施設及び地下二階に給食厨房完成</p> <p>平25(2013). 4. 1 長時間保育始</p> <p>平25(2013). 12. 5 平成24・25年度千代田区研究協力園研究発表会</p> <p>平26(2014). 2. 22 創立20周年記念集会を小学校と合同で実施</p> <p>平26(2014). 4. 1 延長保育始</p> <p>平31(2019). 2. 25 創立25周年を祝う会を実施</p> <p>令 2(2020). 4. 9～5. 31 新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言発令のため休園</p> <p>令 3(2021). 2. 18 令和元・2年度千代田区研究協力園研究発表会</p> <p>令 5(2023). 12. 2 創立30周年記念式典を実施</p>
--